



特42

9.9

梓元
横山町三丁目
辻岡屋文助

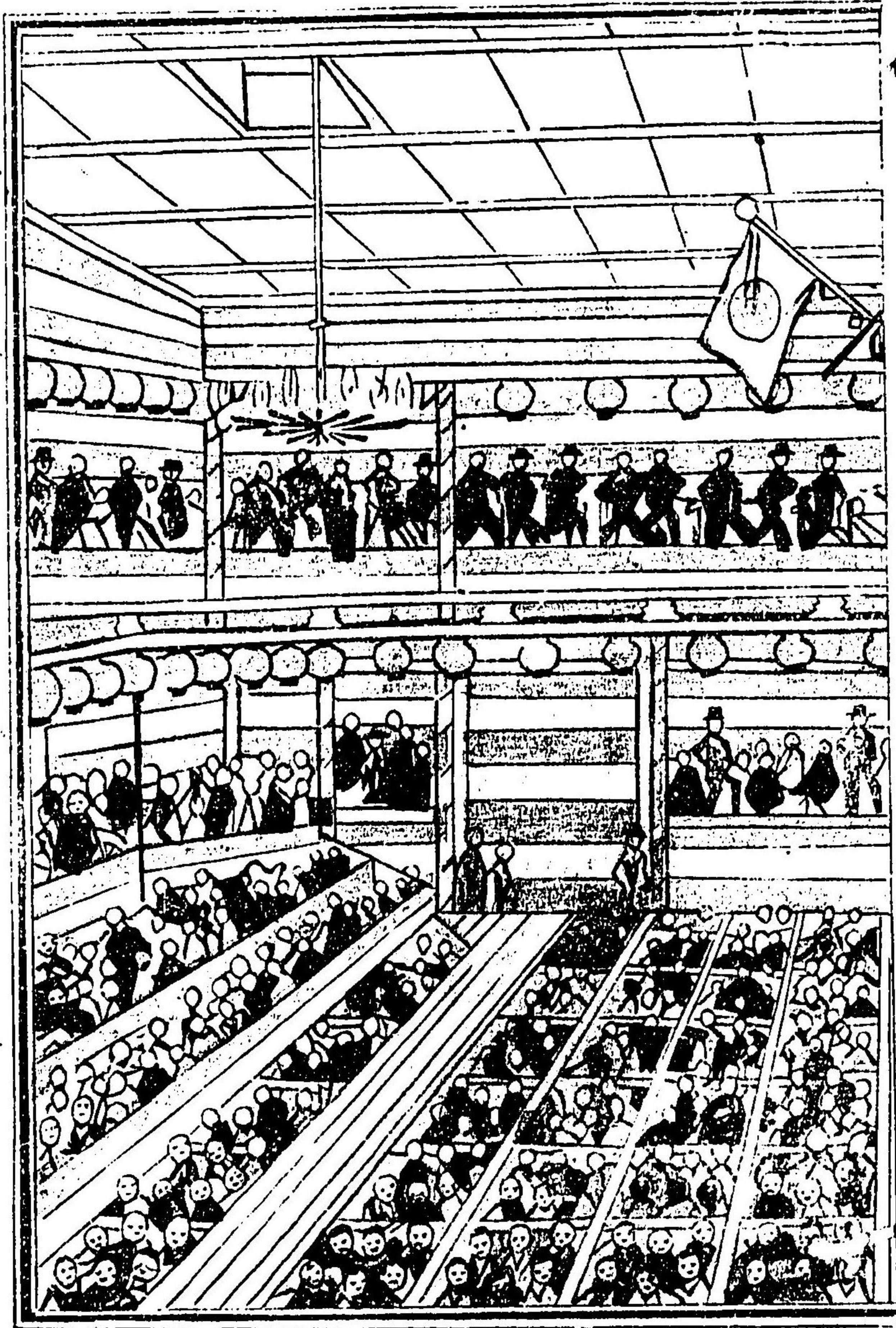
香澤 明治官報 一と君上

金松書房の丁稚
 拂曉は草廬を敲
 いて三編の稿を
 促す其辞や激し余
 いそぐ丁稚知らぬ
 日曜日も偶々の休
 暇日あると偶々の
 進め先生が日曜の
 さへ平常充日と開
 あり違約の違ふ其
 筆と採と此言大ひ
 机上に對するの他
 假名垣魯文誌



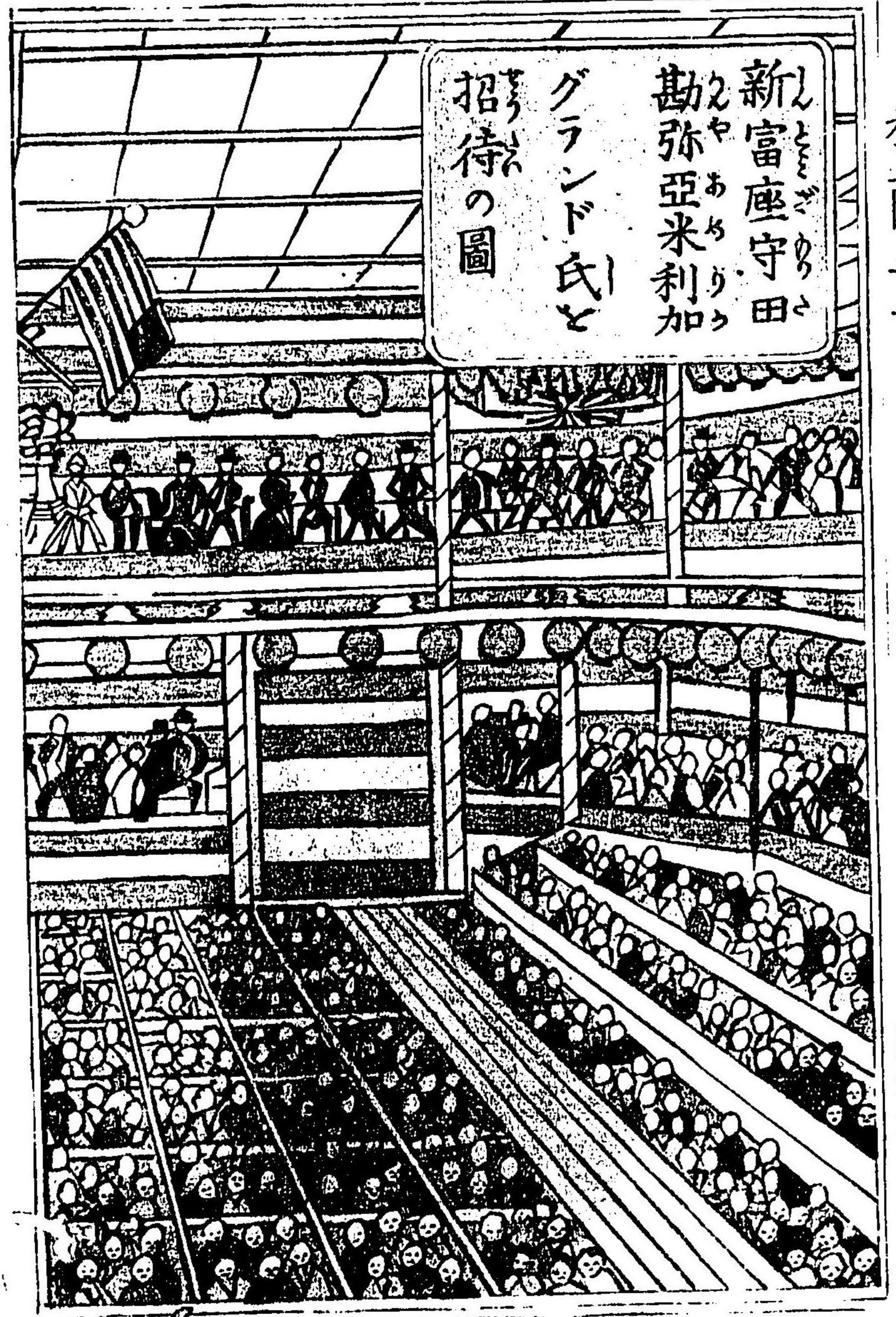
各頁三二一

各首則二上



新富座守田
 勘弥亞米利加
 グランド氏と
 招待の圖

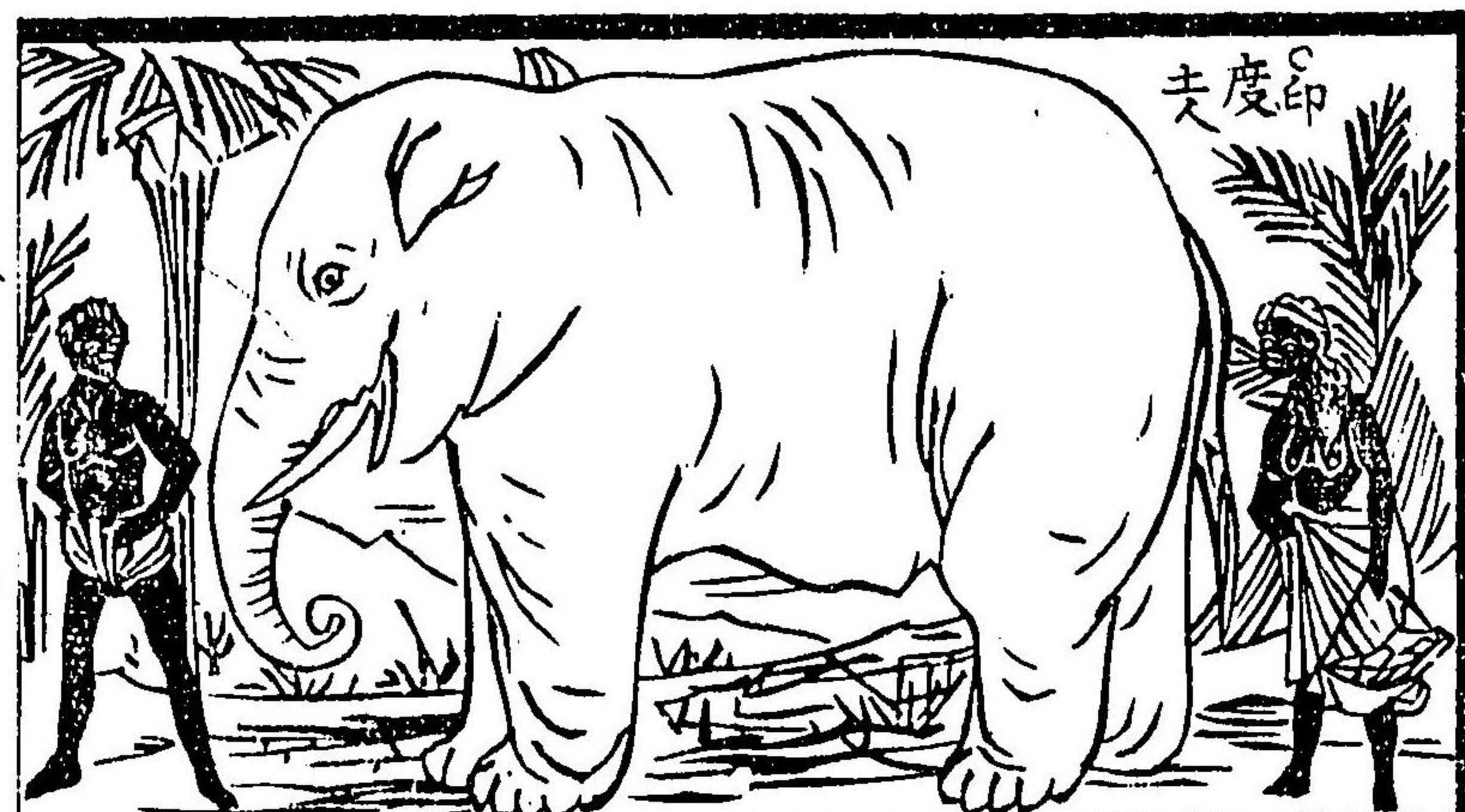
オランダ





印度人男女風俗

各百三十一



印度夫

各百三十一

格蘭氏傳倭文賞三編上之卷

東京 假名垣魯文和解

印度の亜細亞大列の南の極の極小一と
支那と西藏國の西南より海中に突出せ
たるニツの地方なりその全地を茶後小合
ち大海に浴ひたる地を後印名と号け
大陸よをびる地を茶印名又の天竺と号
一その地の際むね熱帯中みたるより早
氣候の熱く土質のあがろく又穀也より不
產物多く少終に世界の島中と聞えたる
ヒマラヤ山の脈を有る大小の江河その源を
此地に發し南に流るる海に注ぐもの

三



〇シヤム國ハトル
 への南より安南
 へ隣りてニレー
 へ隣りてニレー
 へ隣りてニレー

又和上朝三十一

万の
 四千
 八
 〇
 〇
 〇



〇シヤム國ハトル
 への南より安南
 へ隣りてニレー
 へ隣りてニレー

〇シヤム國ハトル
 への南より安南
 へ隣りてニレー
 へ隣りてニレー

正





つぎの如く... 新米の如く... 多量の如く...
 新米の如く... 多量の如く...
 多量の如く... 多量の如く...
 多量の如く... 多量の如く...

細く... 細く... 細く...
 細く... 細く... 細く...
 細く... 細く... 細く...
 細く... 細く... 細く...

銅版開化玉編 全
 開化女用文章 全

近世紀聞 五編
 近世紀聞 五編

義烈田八百首 金花七變化
 義烈田八百首 金花七變化

新東京全圖 大形
 新東京全圖 大形

金地味 假名指書
 金地味 假名指書

出版部... 七月廿日

